

質問に対する回答書⑤

東京外環自動車道 八潮パーキングエリアランプ橋(鋼上部工)北工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	金抜設計書	入札月が4月から5月へ変更となりましたので、積算に使用する物価資料(建設物価版・積算資料)も5月号を使用するものとして考えますが宜しいでしょうか。	参考積算条件書にて公表いたします。
2	特記仕様書 18頁 21-5 週休2日推進工事に要する費用	本工事で使用する週休2日の補正係数は下記のどちらを使用されていますか。 ①R5年度:労務費×1.05・機械賃料×1.04・共通仮設費×1.04・現場管理費×1.06 ②R6年度:労務費×1.04・機械賃料×1.02・共通仮設費×1.03・現場管理費×1.05	参考積算条件書にて公表いたします。
3	金抜設計書 番号3・4 8-(1) コンクリートA1-1 (A) 8-(1) コンクリートA1-1 (A) (J)	先般公表頂きました質問に対する回答書③番号2で回答頂いておりますが、コンクリートA1-1 (A) の単価は公表頂けるのでしょうか。公表を考えていないようでしたら、下記についてご教示下さい。 ①膨脹剤の品名をご教示下さい。 ②膨脹剤使用量はm3当り20kg・30kgのどちらを想定されていますか。	参考積算条件書にて公表いたします。
4	金抜設計書 番号31 10-(5) 鋼構造物の架設 PA-Aランプ橋の架設	橋梁構造が1箱桁区間・2箱桁区間と変化をしています。架設費算出に当り×1～×24のパラメータは1箱桁区間・2箱桁区間それぞれで算出されているのでしょうか。その際、×1～×24のパラメータの中で数量的なものはどのようにして数量を算出されているのでしょうか。ご教示下さい。	1箱桁区間・2箱桁区間それぞれで算出しています。 数量の算出については、設計図書と数量計算書を参考にお考えください。
5	金抜設計書 番号32 10-(5) 鋼構造物の架設 PA-Bランプ橋の架設	橋梁構造が1箱桁区間・2箱桁区間と変化をしています。架設費算出に当り×1～×24のパラメータは1箱桁区間・2箱桁区間それぞれで算出されているのでしょうか。その際、×1～×24のパラメータの中で数量的なものはどのようにして数量を算出されているのでしょうか。ご教示下さい。	1箱桁区間・2箱桁区間それぞれで算出しています。 数量の算出については、設計図書と数量計算書を参考にお考えください。
6	金抜設計書 番号34 10-(5) 鋼構造物の架設 PA-Dランプ橋の架設	橋梁構造が1箱桁区間・2箱桁区間と変化をしています。架設費算出に当り×1～×24のパラメータは1箱桁区間・2箱桁区間それぞれで算出されているのでしょうか。その際、×1～×24のパラメータの中で数量的なものはどのようにして数量を算出されているのでしょうか。ご教示下さい。	1箱桁区間・2箱桁区間それぞれで算出しています。 数量の算出については、設計図書と数量計算書を参考にお考えください。

7	接続ランプ上部工図面81/351 接続Aランプ架設計画図【参考図】	側面図のB7ベント図が表示されていません。ベントの高さも併せてご教示下さい。	接続Aランプ架設計画図【参考図】内のB7ベントの高さはH=18.3mを想定しています。
8	接続ランプ上部工図面264/351 接続Cランプ架設計画図【参考図】	B9・B10ベントの構造幅及びベント柱本数をご教示下さい。また、本橋梁の架設費算出に当り使用されている×11:ベント構造幅(m)、×12:ベント柱本数(本)につきましても併せてご教示下さい。	ベントの構造幅及びベント柱本数は「土木設計数量算出要領 令和5年度7月版」11-6 鋼構造物の架設の適用を想定しています。
9	金抜設計書 番号39 鋼構造物の架設 鋼製橋脚の架設	PA-A_P6・P7、PA-C_P2の鋼製橋脚架設時に必要なベント基礎及びベント設備工に係るベント供用日数をご教示下さい。	ベント供用日数に指定はありません。
10	金抜設計書 番号40 鋼構造物の架設 鋼製橋脚の架設(J)	接続ランプ橋PA-4・3、接続ランプ橋PB13・14、接続ランプPC-3・2、接続ランプPD6・7の鋼製橋脚架設時に必要なベント基礎及びベント設備工に係るベント供用日数をご教示下さい。	ベント供用日数に指定はありません。
11	金抜設計書 番号45 鋼構造物の架設 鋼橋の現場溶接工	橋梁構造が1箱桁区間・2箱桁区間と変化をしているPA-A・B・Dランプ橋の1箱桁区間の橋梁の形式及び接合構造(パラメーター×4)は下記のうち①～③いずれでお考えでしょうか。ご教示下さい。 ① 少数鈹桁、細幅(狭小)箱桁(全断面溶接) ② 少数鈹桁、細幅(狭小)箱桁(併用継手)箱桁(全断面溶接)	設計図書と数量計算書を参考にお考えください。
12	金抜設計書 番号45 鋼構造物の架設 鋼橋の現場溶接工	橋梁構造が1箱桁区間・2箱桁区間と変化をしているPA-A・B・Dランプ橋の2箱桁区間の橋梁の形式及び接合構造(パラメーター×4)は下記のうち①～③いずれでお考えでしょうか。ご教示下さい。 ① 少数鈹桁、細幅(狭小)箱桁(全断面溶接) ② 少数鈹桁、細幅(狭小)箱桁(併用継手)箱桁(全断面溶接)	設計図書と数量計算書を参考にお考えください。

13	金抜設計書 番号45 鋼構造物の架設 鋼橋の現場溶接工	橋梁構造が1箱桁区間・2箱桁区間で橋梁の形式及び接合構造(パラメーター×4)が異なる場合、1箱桁区間・2箱桁区間各々の対象数量及び平均板厚にて単価を策定しているものと考えて宜しいでしょうか。ご教示下さい。	そのとおり想定しています。
14	金抜設計書 番号47 鋼構造物の架設 鋼製橋脚の現場溶接工	単価算出において、ビード仕上げの有無による数量分かれております。使用されました積算基準は”日本建設機械化協会―橋梁架設工事の積算”・”国土交通省―土木工事標準積算基準書”のどちらでしょうか。ご教示下さい。	どちらの適用も想定していません。
15	金抜設計書 番号48 鋼構造物の架設 鋼製橋脚の現場溶接工(J)	単価算出において、ビード仕上げの有無による数量分かれております。使用されました積算基準は”日本建設機械化協会―橋梁架設工事の積算”・”国土交通省―土木工事標準積算基準書”のどちらでしょうか。ご教示下さい。	どちらの適用も想定していません。
16	金抜設計書 番号50～72 支承E-2・3・5・6(J)・8・9(J)・10(J)・11(J)・12(J)・13・13(J)・15(J)・16(J)・17(J)・20・21(J)・23	現場溶接にて据え付ける支承の1基当り現場溶接延長(6mmすみ肉換算長)をご教示下さい。	支承詳細図を基にお考えください。
17	金抜設計書 番号125 鋼構造物の製作 製作材料費(鋼板)B	SM490Cで板厚100mmを超える鋼板があります。(135mm・123mm) 加算する板厚エキストラの金額をご教示下さい。	参考積算条件書にて公表いたします。
18	金抜設計書 番号126 鋼構造物の製作 製作材料費(鋼板)B(J)	SM490Cで板厚100mmを超える鋼板があります。(148mm・115mm・104mm) 加算する板厚エキストラの金額をご教示下さい。	参考積算条件書にて公表いたします。

19	<p>金抜設計書 番号136・140・144・146  鋼構造物の製作 鋼橋の大型部材の製作 他</p>	<p>質問に対する回答③-33にて、PA-A・B・C・Dランプの鋼1室箱桁区間の歩掛は「箱桁の適用を想定している」とのご回答を頂きましたが、鋼2室箱桁区間の歩掛は「細幅箱桁」の歩掛を使用されているのでしょうか。橋梁形式を分けて製作費の算出をされているようでしたら、それぞれ対象となる部材数等が分かる工数算定要素集計表を公表頂けますでしょうか。</p>	<p>特記仕様書に示す通り、PA-Aの第2径間、PA-Bの第3径間、PA-Dの第3径間は鋼1室箱桁であり、「箱桁」を想定しています。その他の細幅箱桁区間については、「細幅箱桁」を想定しています。  入札公告(説明書)で公表するとしている資料以外の公表は行いません。</p>
20	<p>金抜設計書 番号154・155  伸縮装置A・伸縮装置A(J)</p>	<p>伸縮装置の表面には滑り止め施工(合金溶射等)は施さないものと考えますが宜しいでしょうか。</p>	<p>そのとおり想定しています。</p>